

記入例②　**給与支払報告書（個人別明細書）**

・「乙欄」適用の方で給与天引きを希望される方は、摘要欄に「特別徴収希望」と赤字で記入してください。

・内容の変更や追加があり、再提出される場合は、摘要欄に「訂正分」、「追加分」と赤字で記入してください。

・金額等訂正される場合は、訂正印を押印してください。

個人番号(12桁)を記入。

令和6年1月1日現在の住所。

19歳以上23歳未満(H13.1.2～H17.1.1生)の扶養親族の人数。

フリガナを記入。

(02)

計算方法等につきましては、国税庁ホームページをご覧ください。

法人番号(13桁)、個人事業主の場合は個人番号(12桁)を記入。

本人が未成年者(H18.1.3以後生）の場合○を記入。

控除対象扶養親族が日本国外に居住する非居住者の場合は、区分欄に「01～04」を記入。

01…30歳未満または70歳以上　　03…30歳以上70歳未満、障害者

02…30歳以上70歳未満、留学生　04…30歳以上70歳未満、38万円以上送金

居住者…空欄（※源泉徴収票をe-Tax等で税務署へ提出する場合は「00」と記入）

令和５年中の各保険料の支払内訳を全て記入。

控除額ではなく**支払金額**を記入。

**摘要欄**

・専従者給与の場合は「専給」と記入。

・５人目以降の扶養親族の氏名を記入。

・16歳未満の扶養親族の場合は「氏名（年少）」

・控除対象扶養親族が非居住者の場合は「氏名（01～04の内対応する数字）」

・16歳未満が非居住者の場合は「氏名（年少・非居住者）」

・中途就職の場合

・前職分について以下の項目を記入。

①支払者名　②所在地　③退職日

④給与支払額　⑤源泉徴収税額　⑥社会保険料

・前職のない場合は「前職なし」

・前職の源泉徴収票を未提出の場合は「前職未提出」

社印等の押印は不要。

**配偶者及び16歳未満の扶養親族**が日本国外に居住する非居住者の場合は○を記入。

元号は和暦（漢字）で記入。

収入金額ではなく**所得金額**を記入。

扶養控除の対象とならない16歳未満(H20.1.2以後生)の扶養親族の人数を記入。

日本国外に居住する（＝非居住者）扶養親族の人数を記入。

所得税と復興特別所得税の合計額を記入。